



志茂東ふれあい館 2018年4月に移転へ

区民生活委員会 北区初の学校複合施設・なでしこ小への移設が明らかに

29日に開かれた北区議会区民生活委員会で、志茂東ふれあい館が再来年の2018年4月に開設となる北区初の学校複合施設、なでしこ小学校内に移設されることが明らかになりました。同ふれあい館は老朽化もしておらず、利用率も高いことから、移設後も、現在の施設でふれあい館の機能を残すよう求めました。(のの山けん)

委員会では、同ふれあい館の運営を、引き続き、自主管理委員会に任せる指定管理者指定の議案が審議され、現在の場所での指定期間は2018年の3月までとされました。

質疑の中で私が「なでしこ小へ移転した後、現在の施設はどうなるのか」と質したところ、区の担当課長は「新たな行政需要に対応するべく検討することとなるが、現在は未定」と答えました。

利用者・住民に納得のいく説明を

私は「志茂東ふれあい館

を移転する話は、なでしこ小改築説明会の時に一度出ただけであり、『突然の閉鎖』と受けとめられないよう利用者や地域住民に納得のいく説明をする必要がある」と求めました。

人口増も視野に入れ、機能継続を

さらに今後、同ふれあい館に近接する旧日本化薬東京工場跡地に約500戸のマンションが建設され、コミュニティ施設の需要も増すことから、移設後も現在の施設に、これまでと同じように使える機能を残すよう要望しました。

エコにこだわるコラボイベント ほっと縁市

27日に赤羽公園で開かれた「ほっと縁市」。主催者のエコへのこだわりが感じられました。(のの山けん)



26日、ララガーデンで「築地の豊洲移転は中止の決断を」と訴えました(のの山けん)。

遊び心たっぷりの演奏と演出

北とぴあ国際音楽祭 オペラ「ドン・ジョヴァンニ」公演

今年度の北とぴあ国際音楽祭オペラ公演は、モーツァルトの代表作「ドン・ジョヴァンニ」。11年の「コジ・ファン・トゥッテ」、13年の「フィガロの結婚」に続いて、ダ・ポンテ3部作の最後を飾る。1800人も女性の

誘惑してきた破天荒な主人公ドン・ジョヴァンニを中心に、さまざまな人物が織りなす一夜の物語は、演劇（ドラマ）としても見応えたっぷりで、登場人物一人ひとりの性格を見事に表現しきった音楽が劣らず素晴らしい。

国際色豊かな歌手の中で、頭抜けていたのがエルヴィーラ役のロベルタ・マメリ。「コジ」ではドラベツラを、「フィガロ」ではスザンナを演じ、その才能は試され済みであったが、今回もチャームイングかつ感情豊かな歌声を

自分の夫になつたと信じ込み、「助けてあげて」とかばうエルヴィーラ、実は濡れ衣なのだと白状し懇願するレポレッロの心情が、音の高低や緩急を交錯させながら奏でられる。モーツァルトの天才、ここにありだ。



2幕の中盤、ドン・ジョヴァンニに変装したレポレッロが問い詰められる場面では、ドン・ジョヴァンニに復讐を誓う2組のカップルと、披露した。カーテンコールではタイトルロールの与那城敬とともに、万雷の拍手を受けていた。私が最も好きなドン・ジョヴァンニ窓際のエリアで、指揮者が突然、伴奏のマンドリンを弾き出したのには仰天。遊び心たっぷりの演奏と演出を堪能できた。(のの山けん)



第18回

夜のオリエンテリング

23日、北区民商の「夜のオリエンテリング」に参加。今回も十条で食べ歩き、飲み歩きし、美食に舌鼓。(のの山けん)

